

[どんく]

DONC どんく

発行

三重日仏協会

SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE MIE

〒514-0803

三重県津市柳山津興600-5 滝澤方
600-5, Yanagiyama-tsuoki Tsu-shi

TEL 090-4867-1476

FAX 059-227-8010

№128 mars 2024 SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE MIE

2023年度総会とパリ祭パーティー

2023年度定期総会は、7月23日(日)に津市の三重県総合文化センター中会議室で開催されました。多くの会員の参加のもと、2022年度の活動報告と会計報告、2023年度の事業報告と予算計画、役員変更の件が原案通りに承認されました。

引き続き、会員で第七劇場主宰の鳴海康平氏による「フランスの舞台芸術の歴史と今」と題した記念講演では、研修員として滞在されたフランスでの演劇に関する貴重な経験をお話いただきました。フランス人の文化についての考え方を理解することができました。

総会後は、リズカフェにてパリ祭パーティーが開催され、伊藤会長の挨拶、グットマン常務理事の乾杯の後、会員がフランス人留学生を交えて楽しいひとときを過ごしました。



井村屋COB 浅田氏 インタビュー



取締役・取締役会議長
浅田剛夫氏

三重県を代表する企業の一つが、井村屋グループです。

おなじみの「あずきバー」や「肉まん・あんまん」だけでなく、近年は豆腐、日本酒など、さまざまなカテゴリーの商品を世界中に販売しております。「井村屋」はフランスとどのような接点があるのか、三重日仏協会が取締役・取締役会議長（COB）浅田剛夫氏にインタビューをしてきました。



日仏 本日はよろしくお願いたします。御社はフランスとどのようなビジネスをなさっていますか？

浅田議長 南仏カルパントラを本店とするパティスリー「ジュヴォー」を、2003年より日本で運営しております。

日仏 私たちも大好きなお店で、津駅内に売店がありましたころは、よく購入していました。井村屋といえば和菓子のイメージですが、フランスのお菓子も以前から手掛けておられたのでしょうか？

浅田議長 洋菓子自体は、アメリカのアンナ・ミラーズを約50年間運営してきており、アメリカンパイなどは長く作ってきました。しかし、ヨーロッパのお菓子は、井村屋にとってまったく新しいチャレンジでした。

日仏 どうして、手掛けたことのないジャンルを始めることになったのでしょうか？そもそも経緯を教えてくださいませんか？

浅田議長 ジュヴォーの日本第1号店は、2003年に二子玉川高島屋南館でオープンしました。もともと、同高島屋本館にて、当時10店舗目となるアンナ・ミラーズを運営していたのですが、高島屋サイドが、新しく南館を作るにあたり本館テナントの総入れ替えを決定。われわれ井村屋には、アンナ・ミラーズとはまったく別の形態の、日本では展開していない新しいお店を、南館の中に出店してほしい、と要望されました。居酒屋にしようか、魚屋にしようか(笑)と、ゼロベースでさまざまな意見もありましたが、やはりお菓子屋である以上お菓子にこだわろう、とヨーロッパのパティスリーにすることを決定しました。現地に知見のあるお取引先に協力を仰ぎ、フランス、スペイン、スイスなど各地に提携先を求め、最終的にジュヴォーに絞りました。

日仏 たくさんのパティスリーの中から、どうしてジュヴォーを選ばれたのですか？

浅田議長 まずは南仏という場所です。当時の日本では、まだパリのパティスリーが中心で、南仏のお店はとても目新しかったし、書籍『南仏プロヴァンスの 12 か月』のヒットなどで、日本でもプロヴァンスブームが起きていました。
そしてなによりも、ジュヴォーそのものの魅力と歴史が、井村屋グループが重視するものと大変重なり合っており、このお店だ、と決めたわけです。

日仏 ジュヴォー本店は、カルパントラという小さな町にありますし、支店もリルシュールラソルグやアヴィニオンと、プロヴァンス内に限定しておりますね。

浅田議長 ジュヴォーは、カルパントラで 3 代続く、歴史あるパティスリーです。また、デザインやブランドコンセプトがしっかりしており、センスがある。そしてなにより、美味しい！

日仏 ビジネス提携の交渉は、スムーズにいったのでしょうか？

浅田議長 ヨーロッパでは、われわれの知名度はありませんでした。「日本から来たらしいけど、「井村屋」ってなにものですか？」というところからスタートしましたので、まずはわれわれについてしっかり理解していただけるよう努力しました。
提携が決まってからも、パティシエについては良いスタッフが見つかりましたが、お店のコンセプトを作りこむのには苦労しました。店舗、パッケージ、制服、店員の接客態度などのマネジメント、すべてが商品の一部です。
そのとき思い出したのが、以前の私の部下、広松です。すでに井村屋は退職していましたが、ちょうど年賀状が届いており「今、フランスにいます」と書いてあるではありませんか！すぐ電話したら、「こっちは夜中の 2 時ですよ（笑）。今はリヨンにいて、そろそろ帰国する予定です」とのこと。「だめだ！ 帰ってこないで、仕事を手伝ってくれ！！」とお願いし、なんだかんだで、広松が手伝ってくれることになりました。彼女がジュヴォー家にとっても気にいられ、コンセプトをうまく吸収してくれたので、その後はとても順調にいきました。
ジュヴォーは現在、広尾店、虎ノ門ヒルズ店、KITTE 名古屋店、京都祇園店、JR 京都伊勢丹店の 5 店舗まで広がっております。



日仏 わたしたちも、ぜひまたジュヴォーでお菓子を購入いたします。今後のご発展が楽しみです。最後に、徐々に海外へ行きやすくなってきましたが、浅田議長ご自身は、渡仏のご予定はありますか？

浅田議長 実は、ジュヴォーのカルパントラ本店近くに、最近新しくアトリエが完成したとのことで、この冬の間、カルパントラを訪問する予定です（※2023年11月渡仏済）松阪市出身の書道家高橋白鷗先生に依頼し、「寿望」（ジュヴォー）と書いていただいた掛け軸を、お祝いにお送りしました。私が考えたのですが、おもしろい当て字でしょうか？（笑）これからも、ジュヴォーと井村屋をどうぞよろしくお願いいたします。

インタビューを終えて

井村屋グループに取材を依頼しましたが、まさか浅田議長自らが対応してくださるとは思いませんでした。御多忙中、本当にありがとうございました。（実は、お土産までいただいてしまいました。）三重県人として、井村屋をこれからもずっと応援していきたいと思っています。

留学生歓迎会

今年の秋から、三重大学に留学しているフランス人学生を迎えるの歓迎会を、11月8日（水）に、津市大門の「バンビ」にて行いました。

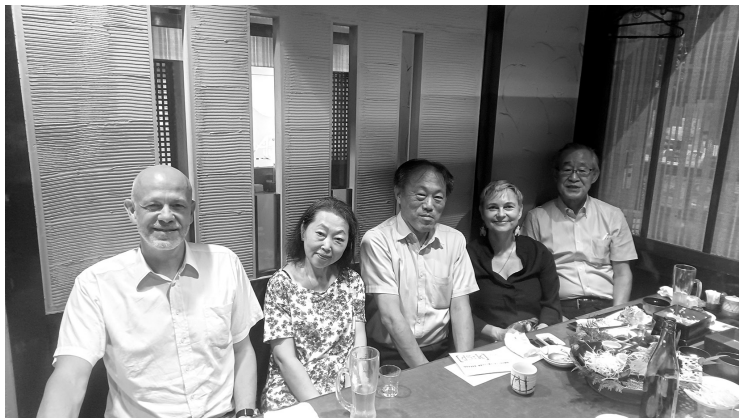
今回は留学生5人が参加し、賑やかな会となりました。日仏協会からは7人が参加。留学生の皆さんの日本語力はバラバラでしたが、夏にはみんな上達しているはずですよ。

みなさんが帰国するまでに、また集まる会をしたいと思います。（実際に決まりましたら、会員にもHPでご連絡いたします。）



ベアトリス先生との食事会

7月10日に日本を訪問中のリヨン大学東アジア研究所のベアトリス先生をお迎えし、食事会をしました。提携している日本の大学での留学生の受け入れのために来日した先生によると、三重大学にも10月から滞在されるとのことでした。(既に三重大学で日本語を学んでいます。)



右から二人目がベアトリス先生

会員活動

津市美里町を拠点に国内外で作品を上演している「第七劇場」が10月7日と8日に三重県文化会館で『三人姉妹』を上演し、大勢の方が訪れました。

「自由」という名の獣が私たちに、あなたは幸せかどうかを問いかけてきても、すぐに答えられる人は一体どれくらいいるのでしょうか。

次の作品も楽しみにしています。

(速報)

次回公演が決定いたしました。

場所：三重県文化会館 小ホール

日程：2024年8月31日(土)・9月1日(日)

演目：『ヘッダ・ガーブレル』

ヘンリク・イプセン作

私たちの生活は、まだおしまいじゃない、生きていこうね。
もう少ししたら、私たちが何のために生きていっているのか、何のために苦しんでいるのか、わかるような気がする。



原作：A. チューホフ 構成・演出・美術：嶋海康平

三重公演 2023年10月7日(土)・8日(日)

知念公演 2023年10月22日(日)

第七劇場 情報サイト: <http://daimona-triole.tumblr.com/>



4/7(日) 柏木隆雄氏 「第23回文芸講演会」

毎回好評を博しております文芸講演会を、今回も放送大学三重学習センターとの共演で下記のように開催いたします。一般公開・入場無料です。多数のご来聴をお待ちしております。

会場：三重県総合文化センター内 生涯学習センター 4階 中研修室

時間：午後2時～4時

演題：「文学の世界から見る昔のお金、今のお金」

講師：柏木隆雄 先生

(大阪大学、大手前大学名誉教授)

<講師のひとこと>

「かねに恨みは数々ござる」と道成寺の女性は鐘にとりついて嘆きますが、この恨み、いつの世にも人間界に離れることはありません。恋の「鐘」と金銭の「かね」。尾崎紅葉の「金色夜叉」を始めとして、昔から「色と欲」は分かちがたく人間を悩ませてきました。長く聴いていただいている私の話も、いよいよ切羽詰まって来たかと思われる方もあるかも知れませんが、お金にまつわる古今の書き物から、令和の物価高を乗り切る知恵を探ることが出来ればと思います。



年会費納入のお願い

2023年度の年会費（個人 3,000円）の振り込みをよろしく申し上げます。

①同封振込用紙にて

または

②ATMにて

百五銀行本店営業部 普通預金

口座番号 153969